

里雄 敬意

最近、『自分に当てはまる「現代病」TOP10』という記事を目にしました。その記事には、『社会や人の価値観の変化からジョークの意味も含めて「現代病」なんて言葉が使われる。最近では、SNSによるコミュニケーションの変化もあり、様々な「現代病」が登場しているようだ。』と書かれています。

その中で、「現代病TOP10」の1位のサザエさん症候群から、10位の青い鳥症候群という「現代病」というものが紹介されていました。

「サザエさん症候群」とは、「サザエさんが放送される日曜の夕方に、翌日の仕事のことを考え憂鬱になる。」ことだそうです。

そういう方が多いとの事ですが、私自身も小学生の頃によく感じたことがありますし、今でも感じることもありますから、身に覚えがあります。今の私は、金曜日の夜、子どもとアニメを見ている時にその事を感じる人が多いので、「妖怪ウォッチ症候群」という事でしょう。

「青い鳥症候群」とは、メーテルリンクの有名な物語「青い鳥」にちなんで名付けられた症候群で、例えば企業に入社したりしても数年で辞めてしまい、再び大学に戻って好きな勉強をしたり、何かの資格試験などを目指したりする人のことを指します。「自分の本当にやりたいことは別にあるに違いない、自分にふさわしい場所や立場が他にあるはずだ。」と考えるのです。「今の自分は本当の自分ではないと考え、理想と現実のギャップを受け入れられず、職を転々とする状態のこと。」だそうです。

このことは、そういう人がいる、多くなってきたという事ではないように感じます。私たちは現在（いま）、そこに身を置き、そこに在るという現実の自分自身の事実を引き受けるということが難しいのです。自分の理想（思い）どおりに生きることを追い求めるのですが、現実はそうはならない。最後には、自分の理想（思い）に、いよいよ自分が縛られていくのです。

「なにをなすか」ということではなく、「いかになすか」ということを、私の課題としていくことが大切なのではないかと思えます。

10個紹介されている「現代病」の中でいちばん注目したというか、ハッとさせられたのが、「ヤマアラシ症候群」という言葉です。ヤマアラシの特徴は、「通常、針をもつ哺乳類は外敵から身を守るために針を用いるが、ヤマアラシは、むしろ積極的に外敵に攻撃をしかける攻撃的な性質をもつ。」ということか

ら、「他人から傷つけられるのを極度に怖がり、逆に周囲に攻撃的になり孤立してしまう状態のこと。」を「ヤマアラシ症候群」と言うそうです。この「ヤマアラシ症候群」という言葉は、現在の世の中、私達の在り方を言い当てられているような気がします。

世界全体が右傾化しているのではないかと感じるが多くなってきました。アメリカの大統領候補の発言、フィリピンの大統領の発言、難民問題受け入れ拒否等色々ありますが、もちろん他国だけの話しではありません。又、国だけの問題でもありません。私たちの問題でもあります。

人間がいつでも評価され、選別され、裁かれ続け、他者から批判を受け、否定、排除されていくという現代の風潮を感じますし、現実にそのことを経験することもあるかと思えます。ですから、そのことに非常に敏感になりますし、非常に畏れを持ちます。そういう中で、自分が傷付けられる前に、自分を保つために、自分を守るために、「自分の価値観に合わないもの」「自分とは異質なもの」「役に立たないもの」「価値のないもの」と自分の思いで外敵作り出し積極的に否定、排除していくという攻撃的な在り方が非常に強くなってきたように思います。

相模原の事件も、そういうところから起ってきたのではないかと思います。私たち一人一人が孤立していく世界を作り出している。それは正に、無間地獄の世界です。